



實性

令和三年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸 ご案内

お彼岸とは「修業の完成」という意味です。

仏教では、私達が生きている迷いの世界であるこの世を「此岸しがん」（川のこちら側）と呼び、岸の向こう側を「彼岸かがん」と呼んでいます。

すなわち、迷いや苦悩に満ちたこの世界「此岸」から、苦悩や迷いの無い悟りの世界に渡ることをいいます。この為に、自分自身をよく整え、精進努力する期間が「お彼岸」です。

秋分の日の、日中を真ん中にして、前後三日間の計七日間のことをいいます。お彼岸は、日本独自の純然たる仏教行事です。太陽が真東から昇り真西に沈む「中道」を表し、西方極楽浄土のありかを示しています。

極楽浄土という、仏様の悟りの世界におられる今は亡きご先祖様の徳を偲んで、お墓参りをします。今、自分が生かされている喜びに感謝し、仏様の教えに親しみたいものです。

彼岸会法要

お中日

おちゅうにち



■九月二十三日(祝・木) 午前十一時より

- お彼岸入り 九月二十日(月)
- お彼岸中日 九月二十三日(木)
- お彼岸明け 九月二十六日(日)

※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染感染状況により変更となりますことご了承ください。

盂蘭盆会ご報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、当山の行事「修正会」「春彼岸会」「施餓鬼会」「花まつり」「七夕・蓮見の会」「実性寺寄席」「盂蘭盆会」「秋彼岸会」「暁月会」等例年通り厳修することが困難となっております。

これらの行事は、本来、住職とお檀家様、職方、茶道部の方々等、仏様とのご縁のもと、親しく身近にと催されるべきところですが、三密を避けるため、変則な形になっております。何かとご不便ご迷惑をおかけ致しておりますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



盂蘭盆会



實性寺の
彼岸花
ひがんばな

お彼岸の頃、開花するので彼岸花と呼ばれています。またマンジュシャゲ（曼珠沙華）とも呼ばれ梵語「赤い花・天上の花」の意味で、おめでたい兆しとされています。

浄土宗開宗八百五十年



法然上人

浄土宗
開宗850年

お念佛からはじまる幸せ

令和6年

浄土宗の宗祖・法然上人は、一一七五年（承安五年）に浄土宗を開かれました。二〇二四年（令和六年）に、浄土宗は開宗八五〇年を迎えます。

法然上人は、「南無阿弥陀仏」とお念佛を称えることにより、すべての人が平等に阿弥陀さまに救われていく道を説かれました。

浄土宗を開かれた理念について、法然上人は次ぎのように仰っています。「私が浄土宗を立て意趣（いしゅ）考えは、凡夫（ぼんぶ）仏教の道理を理解していない者が阿弥陀仏の報土（ほうど）西片極楽浄土）に往生できることを示すためである。」

欲求が満たされることも「幸せ」の一面ですが、欲求が満たされることだけが「幸せ」では有りません。「仏法僧の三宝」の明るく、正しく、なかよく「生きる生活の中に、「幸せ」の本質があると考えます。

「お念佛からはじまる幸せ」とは、お念佛を称えることにより、自分自身が生かされていることに気づかされる。そして、お念佛を称えることが阿弥陀さまに見守られ、救われていく安心につながり、お念佛の信仰を深めていくことです。

お線香

お線香は香りのごちそうです。

心を清め、身体を清め、物を清め、真心をお供えることにあります。仏様のみ教えの香り、静けさの香りでもあり、また、仏様の食べ物ともいわれています。この香りは、香木ですが、長く香るようにと、お線香が作られました。お線香を供えるには、なるべく香りの良い物を差し上げてください。一本でもあるいは半分でも十分です。

ご持参のお線香をご自身で火を付けるのは、大変危険です。また、汚れの原因ともなります。**玄関でお付け致しますので**、どうぞお申し付けください。もちろん無料ですので、ご遠慮は無用です。

お寺は、お線香を売る商売ではございませんので、檀信徒各位の便宜上お寺に用意してあるものです。



卒塔婆とは

普通に「お塔婆」と呼ばれておりますが、正式にはインドの言葉で「ストウーパ」という言葉が中国で「卒塔婆（そとうば）」と漢字に置き換えたものです。

この「ストウーパ」は、元々お釈迦様の遺骨、すなわち舍利（しゃりー）のことをいいます。埋葬した上に「しるし」として立てられたものが「仏舍利塔」です。「仏舍利塔」が「五重塔」になり、五重石塔になり、「木柱の塔（角塔婆）」になりそして板の塔婆になりました。板の塔婆の上部に五つの切り込みがありますが、五大、すなわち、地・水・火・風・空という万物を表しています。

塔婆を建立することは、物質的に最大の供養とされ、また、亡き人へのお手紙ともいわれています。この物質的最大のまごころの供養をもつて差し上げたいものです。







浄土宗 晚月山 林和院
實性寺

▼ペット募集

▼水代御膳屋

▼依養

▼子育水子地蔵菩薩

▼一休草阿弥陀如来座像

境内のご案内

實性寺のいわれ

年中行事

表千家流 茶の湯教場

寺報「實性」

交通のご案内



お知らせ

- ▶ 2018.5.25 茶の湯教場 5月のお稽古もご覧いただけます。
- ▶ 2018.5.9 茶の湯教場 4月のお稽古をご覧いただけます。
- ▶ 2018.4.5 茶の湯教場 3月のお稽古をご覧いただけます。

▶ 過去のお知らせを見る

行事情報

- ▶ 2013.10.20 10月20日に開催された、第14回實性寺寄席の様子です。
- ▶ 2013.8.31 8月13日 お盆法要の様子です。
- ▶ 2013.6.13 お伽娘鬼の様子です。

▶ 過去の行事情報を見る

ページ上部へ



浄土宗 晚月山 林和院
實性寺

〒121-0041 東京都足立区花畑3-17-18
電話 03(383)8866
FAX 03(383)3227

- ▶ 實性寺のいわれ
- ▶ 境内のご案内
- ▶ 寺報「實性」
- ▶ 交通のご案内
- ▶ お知らせ
- ▶ 行事情報
- ▶ 依養
- ▶ ペット募集
- ▶ 年中行事
- ▶ 表千家流 茶の湯教場
- ▶ 寺報「實性」

Copyright © Jyoji All Right Reserved.

境内の花

Flowers in the precincts



駐車場

当寺には山門右横の五〜六台の駐車場しかございません。

ご法事・お寺の行事（修正会・彼岸会・お施餓鬼・お盆等）には、とても不十分です。今までは、お檀家様の駐車場をその都度お借りしておりましたが、空きが無くなり、ご用意することができません。

大変ご迷惑をお掛け致しますが、お寺の周りの、コインパーキングをご利用頂くしかありません。その点は何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

開門・閉門時間

冬時間にもない開門・閉門時間を変更させていただきます。

十一月〜二月まで

● 開門 午前七時

● 閉門 午後四時

ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替 口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

